

木くぼり

樹木の不思議 50
富田会主追悼特集



No.
85

発行
' 10-4月号

株式会社 ナガイ内

住まい教室 金谷教室

コブシの不器用な虫寄せ作戦



早春に雑木林を歩くと、たくさんの花を咲かせている樹木があちこちにあることに気がつきます。コブシもそんな木の一つで、白い花で覆われた樹冠の美しさはサクラに勝るとも劣りません。このコブシの花を観察すると面白いことに気がつきます。この木の花は雌ずいと雄ずいを両方もつ両性花ですが、雌ずいが、雄ずいよりも早く成熟するため、個々の花の花期は受粉可能で花粉を出さない「雌期」とほとんど受粉しないが花粉を出す「雄期」に分けることができます。このため、樹冠全体で見ると着花期間の初期は雌期の花が大部分を占め、中期には雌期と雄期の花が混在し、後期になると雄期の花の割合が高くなります。

雌期の花は昆虫の食物となる蜜や花粉を出さないため花弁と匂いだけで昆虫を引き寄せ、受粉しなければなりません。報酬なしのこの雌期の花に花粉を運ぶ昆虫は体長二〜三mmの甲虫数種です。これらの甲虫は花粉目当てに飛来しますが、雌期の花にも飛び込みます。このような個体の大部分は花粉を求めて花中を歩き回った後に別の花へと飛び去っていきます。

コブシは甲虫をだましてうまくやっているように見えますが、コブシにとっては困ったことに、着花初期に開花する雌期の花に甲虫が飛来しないことがあります。

着花初期は樹冠全体の花数が少なく、匂いや花弁による誘引力がそれほど強くないためと考えられます。また、着花初期には雄期の花がほとんどないため、甲虫もそう何度もまされないのかもしれませんが。

誘引力を最大にするためにはすべての花芽を同時に開花させなければなりません。開花後に低気温が続くと虫が飛来しなくなり、すべての花が受粉できなくなってしまいます。受粉できなかった多くの雌期の花は、早春に起こりがちなこのようリスクを回避するための代償なのかもしれません。

参考資料：森の木の100不思議・インターネット他

富田会主のご逝去にあたり、生前より会主が親しくさせていただいておりました、地球と人にやさしい家づくり、木造住宅と国産材の振興に努めておられる
民主党参議院議員 前田武志氏よりメッセージを頂きましたのでご紹介します。

富田辰雄さんに最初にお目にかかった時、広い蓄積と深い探究心を持った本物の棟梁に初めて出会った気持ちでした。

私は、国会活動を通じて「木の文化」振興を訴えてきましたが、大きな流れを変えるのに限界を感じていた頃であっただけに、「木の匠」が持つ情熱と信念に奮い立たされる思いでした。

民主党に、住宅政策小委員会が設置され、私が座長をお引き受けしたのも、この思いがあったからでした。二年近い検討会を経て、「友愛精神」を育む木造住宅による低炭素化社会を目指すことになりました。新築は勿論のこと、五千七百万戸もあるマイホームを、地元の材木を活かし、省エネ・安全改修と賃貸・流通市場の整備を行い、マイホームを優良住宅化し資産価値を高めるといふものです。

これは、富田棟梁の「幸福を生む住まい」がコンセプトです。
棟梁のお知恵を、ご教示頂きたかったのに、誠に残念です。

富田辰雄さんのご冥福を、心よりお祈り申し上げます。

平成二十二年二月

民主党参議院議員 前田武志

新築現場情報

島田市細島Y邸の新築工事、木工事順調に進行しています。4月完成に向けて業者のみなさん共々頑張っています！



外壁左官下塗り↓



堀炬燵製作中↓



(株)ナガイ 島田市牛尾510-2 TEL (0547) 45-3501

<http://www.e-house.co.jp/nagai/>

メール kk-nagai@po2.across.or.jp